Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成 29 年 7 月 26 日 水管理·国土保全局治水課

ダム再生の推進

~「ダム再生ビジョン」策定後、初の新規事業採択に向けた手続きを開始~

本年6月の「ダム再生ビジョン」策定後、初の新規事業採択に向け、新規事業採択時評価の 手続きを開始します。

<ダム再生の新規事業候補箇所>

○ 雨竜川ダム再生事業 (北海道開発局)

○ 矢作ダム再生事業 (中部地方整備局)

○ 早明浦ダム再生事業 (水資源機構)

※あわせて、城原川ダム建設事業(九州地方整備局)についても新規事業採択時評価(実施計画調査段階から建設段階への移行)の手続きを開始します。

国土交通省では社会全体の生産性向上につながるストック効果の高い社会資本の整備・活用等を加速することとして、「生産性革命本部」を設置し、「生産性革命プロジェクト」の一つとして、既設ダムを有効活用する「ダム再生」を推進しており、本年6月にダム再生をより一層推進させるための方策を示す「ダム再生ビジョン」を策定しました。

この度、「ダム再生ビジョン」策定後、初の新規事業採択に向け、新規事業採択時評価の手続きとして、関係道県への意見聴取を開始しますので、お知らせいたします。

<ダム再生の新規事業候補箇所・内容>

【雨竜川ダム再生事業 (北海道開発局)】

~雨竜第2ダムのかさ上げ、雨竜第1、第2ダムの容量振替による治水機能の確保~

【矢作ダム再生事業 (中部地方整備局)】

~矢作ダムの放流設備増設による治水機能の増強~

【早明浦ダム再生事業 (水資源機構)】

~早明浦ダムの放流設備増設、容量振替による治水機能の増強~

道県の意見聴取後、学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見も聴き、評価結果 をとりまとめ、平成30年度予算要求に反映する予定です。

この他、土砂移動の連続性改善や治水・利水機能向上など、「ダム再生ビジョン」に沿って 各種検討を進めてまいります。

<参考>

- ・生産性革命プロジェクト: http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei_point_tk_000021.html
- ・ダム再生ビジョン: http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo05_hh_000029.html

<問合せ先>

水管理・国土保全局 治水課 村田、松原、和泉

代表: 03(5253)8111(内線:35562、35672、35682)直通: 03(5253)8453 FAX: 03(5253)1604

ダム再生の新規事業候補箇所

建設段階への移行)の手続きを開始。

うりゅうがわ

雨竜川ダム再生事業

~雨竜第2ダムのかさ上げ、雨竜第1、第2ダムの 容量振替による治水機能の確保~

【場所】

いしかりがわ うりゅうがわ 石狩川水系雨竜川及びウツナイ川

うりゅうぐんほろかないちょう (北海道雨竜郡幌加内町)

【事業の効果】

河川改修に併せて、雨竜第1、第2ダム(昭和18年より運用開始)を有効活用(かさ上げ、容量振替)することにより、戦後最大規模の昭和56年8月洪水(下流部)・平成26年8月洪水(中上流部)と同規模の洪水に対して浸水被害を軽減する。

早明浦ダム再生事業

~早明浦ダムの放流設備増設、容量振替等による 治水機能の増強~

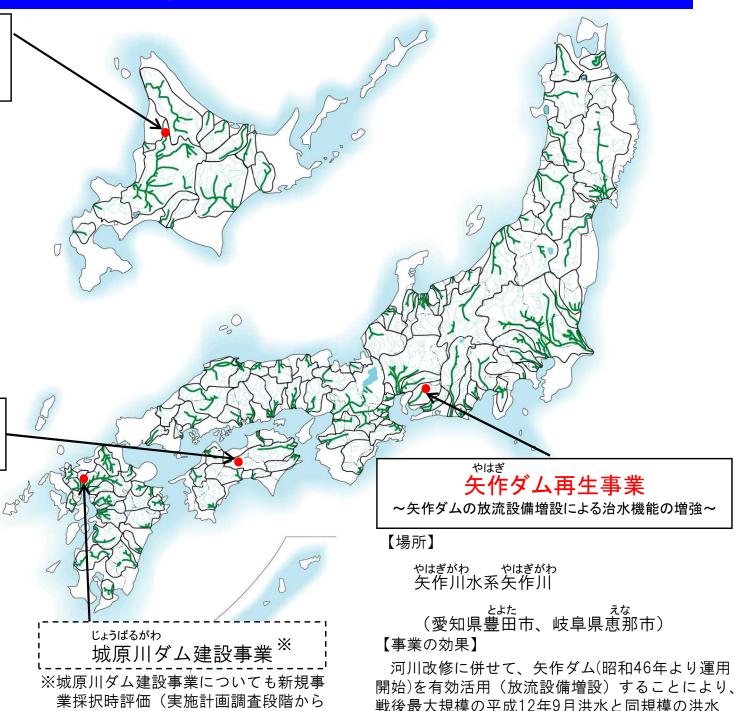
【場所】

よしのがわ よしのがわ 吉野川水系吉野川

ながおかぐんもとやまちょう とさぐん とさちょう (高知県長岡郡本山町、土佐郡土佐町)

【事業の効果】

河川改修に併せて、早明浦ダム(昭和50年より運用開始)を有効活用(放流設備増設、容量振替等)することにより、戦後最大規模の平成16年10月洪水と同規模の洪水に対し、吉野川の氾濫による浸水被害を軽減する。



が発生しても安全に流下させる。